



平成28年 5月13日

各 位

会社名 株式会社 中村屋  
代表者名 代表取締役社長 鈴木 達也  
(コード番号 : 2204 東証第一部)  
問い合わせ先 取締役常務執行役員 二本松 壽  
(電話番号 03-5454-7153)

(訂正・数値データ訂正)「平成28年 3月期 第1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」  
の一部訂正について

当社は、平成27年 7月31日に開示いたしました「平成28年 3月期 第1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の内容と理由

平成27年 3月期の決算短信に一部訂正すべき事項が発生しました。この訂正要因は、平成27年 3月期に行った会計方針の変更に伴う課税所得計算の誤りであります。具体的には、平成27年 3月期に「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年 5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年 5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて前第1 四半期連結会計期間より適用し、それに伴い退職給付に係る負債額が変動いたしました。これに関連する申告調整を誤り課税所得が過少に計算する結果となりました。

この結果、平成27年 3月期の繰延税金負債と法人税等調整額をを270,899千円過少に計上し、当期純利益を同額過大に計上したものです。なお、これにより平成28年 3月期における連結株主資本等変動計算書の利益剰余金の遡及処理を反映した当期首残高は270,899千円減少しております。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月31日

上場会社名 株式会社中村屋 上場取引所 東  
 コード番号 2204 URL <http://www.nakamura.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 達也  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 二本松 壽 (TEL) 03-5454-7125  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	7,077	4.1	△612	—	△589	—	△422	—
27年3月期第1四半期	6,799	△2.2	△647	—	△645	—	△429	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △164百万円( —%) 27年3月期第1四半期 △327百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△7.14	—
27年3月期第1四半期	△7.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	39,458	22,573	57.2
27年3月期	39,767	23,315	58.6

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 22,573百万円 27年3月期 23,315百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	10.00	10.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,200	△1.8	△1,560	—	△1,530	—	△1,040	—	△17.60
通期	42,100	1.2	1,110	44.6	1,160	24.0	780	9.6	13.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期1Q	59,762,055株	27年3月期	59,762,055株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	600,621株	27年3月期	629,000株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期1Q	59,144,454株	27年3月期1Q	59,041,899株

(注) 期末自己株式数には、従業員持株会処分型ESOP (信託口) が所有する当社株式数を含めて記載しております。

28年3月1Q 493,000株      27年3月期 523,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績については、今後の様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、安倍政権の経済政策アベノミクスによる景気の下支えはあるものの、消費マインドの停滞や公共投資に弱さが見られる等先行き不透明な状況が続いております。

菓子・食品業界におきましても、円安による、原材料価格の高騰や、根強い節約志向に加え、少子化による市場そのものの縮小といった要素も加わり、引き続き企業間競争が激化しています。

このような厳しい環境の中、当中村屋グループは経営理念である「新たな価値を創造し、健康で豊かな生活の実現に貢献する」を果たすため、お客様満足の視点に立ち、既存事業の更なる深耕と成長マーケットへの新たなチャレンジを推進しました。

以上のような経過の中で、当第1四半期連結売上高は、7,077,293千円 前年同期に対し277,844千円、4.1%の増収となりました。

利益面におきましては、売上高増収等による粗利益の増加にあわせ、ローコスト施策を積極的に推進し、営業損失は612,213千円 前年同期に対し35,260千円の改善となり、経常損失は588,763千円 前年同期に対し55,921千円の改善となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は422,442千円 前年同期に対し6,702千円の改善となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、原材料及び貯蔵品の増加483,811千円、投資有価証券の増加379,438千円、商品及び製品の増加295,645千円、繰延税金資産の増加235,718千円等がありましたが、受取手形及び売掛金の減少1,697,767千円等により、前連結会計年度末に比べ309,363千円減少し、39,457,809千円となりました。

負債は、賞与引当金の減少305,607千円、支払手形及び買掛金の減少190,147千円等がありましたが、短期借入金の増加1,177,487千円等により、前連結会計年度末に比べ432,295千円増加し、16,884,889千円となりました。

純資産は、配当金の支払等による利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末に比べ741,658千円減少し、22,572,920千円となりました。

## (キャッシュ・フローについて)

当第1四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ190,298千円増加し、1,695,300千円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、445,847千円の支出となりました。これは主に、売上債権の減少1,697,767千円等による収入があったものの、たな卸資産の増加782,409千円、税金等調整前四半期純損失596,352千円、賞与引当金の減少305,607千円、未払消費税の減少231,429千円等があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、43,216千円の収入となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出69,215千円等があったものの、定期預金の払戻による収入126,408千円等があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、581,582千円の収入となりました。これは主に、配当金の支払額509,179千円等があったものの、短期借入金の純増額による収入1,100,000千円等があったことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予測につきましては、平成27年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当該事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当該事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,892,815	1,961,390
受取手形及び売掛金	4,259,042	2,561,275
商品及び製品	1,234,103	1,529,748
仕掛品	37,133	40,086
原材料及び貯蔵品	869,914	1,353,725
繰延税金資産	488,363	724,081
その他	367,013	463,875
貸倒引当金	△5,490	△3,408
流動資産合計	9,142,894	8,630,771
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,518,555	8,402,424
土地	13,748,156	13,748,156
その他(純額)	1,807,962	1,764,224
有形固定資産合計	24,074,673	23,914,804
無形固定資産		
その他	246,989	237,799
無形固定資産合計	246,989	237,799
投資その他の資産		
投資有価証券	5,426,733	5,806,171
その他	879,109	871,465
貸倒引当金	△3,226	△3,201
投資その他の資産合計	6,302,616	6,674,435
固定資産合計	30,624,278	30,827,038
資産合計	39,767,172	39,457,809
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,410,800	1,220,653
短期借入金	2,267,231	3,444,718
未払法人税等	91,746	38,375
賞与引当金	610,196	304,589
資産除去債務	12,000	12,000
その他	2,170,017	2,006,782
流動負債合計	6,561,990	7,027,118
固定負債		
長期借入金	2,119,289	2,033,770
繰延税金負債	1,481,072	1,648,703
退職給付に係る負債	4,673,194	4,630,824
資産除去債務	76,209	76,637
その他	1,540,840	1,467,837
固定負債合計	9,890,604	9,857,771
負債合計	16,452,594	16,884,889

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,469,402	7,469,402
資本剰余金	8,028,457	8,030,298
利益剰余金	<u>6,644,635</u>	<u>5,630,863</u>
自己株式	△257,717	△246,209
株主資本合計	<u>21,884,777</u>	<u>20,884,354</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,496,083	1,753,506
退職給付に係る調整累計額	△66,283	△64,940
その他の包括利益累計額合計	1,429,800	1,688,566
純資産合計	<u>23,314,578</u>	<u>22,572,920</u>
負債純資産合計	39,767,172	39,457,809



## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	6,799,449	7,077,293
売上原価	4,189,324	4,347,393
売上総利益	2,610,125	2,729,900
販売費及び一般管理費	3,257,598	3,342,113
営業損失(△)	△647,473	△612,213
営業外収益		
受取利息	683	779
受取配当金	8,176	8,334
為替差益	—	16,032
その他	11,822	8,652
営業外収益合計	20,681	33,796
営業外費用		
支払利息	3,957	6,925
為替差損	11,146	—
支払手数料	—	2,148
その他	2,790	1,274
営業外費用合計	17,892	10,347
経常損失(△)	△644,684	△588,763
特別損失		
固定資産除却損	1,960	352
投資有価証券評価損	—	2,091
減損損失	304	5,146
特別損失合計	2,264	7,589
税金等調整前四半期純損失(△)	△646,948	△596,352
法人税、住民税及び事業税	19,130	16,114
法人税等調整額	△236,934	△190,024
法人税等合計	△217,805	△173,910
四半期純損失(△)	△429,143	△422,442
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△429,143	△422,442
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	156,128	257,422
退職給付に係る調整額	△54,174	1,343
その他の包括利益合計	101,954	258,766
四半期包括利益	△327,190	△163,676
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△327,190	△163,676
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△646,948	△596,352
減価償却費	199,312	256,921
有形固定資産除却損	1,960	352
投資有価証券評価損益(△は益)	—	2,091
減損損失	304	5,146
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,472	△2,107
賞与引当金の増減額(△は減少)	△317,645	△305,607
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△233,430	△40,384
受取利息及び受取配当金	△8,859	△9,113
支払利息	3,957	6,925
為替差損益(△は益)	11,146	△16,032
売上債権の増減額(△は増加)	1,738,959	1,697,767
たな卸資産の増減額(△は増加)	△654,891	△782,409
仕入債務の増減額(△は減少)	△688,505	△190,147
未払消費税等の増減額(△は減少)	9,631	△231,429
役員退職慰労未払金の増減額(△は減少)	—	△5,091
その他	△307,909	△214,723
小計	△888,447	△424,193
利息及び配当金の受取額	39,508	54,092
利息の支払額	△3,719	△6,820
法人税等の支払額	△39,878	△68,926
営業活動によるキャッシュ・フロー	△892,536	△445,847
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△6,421	—
定期預金の払戻による収入	—	126,408
有形固定資産の取得による支出	△545,416	△69,215
有形固定資産の売却による収入	145	—
無形固定資産の取得による支出	△12,372	△22,205
投資有価証券の取得による支出	△71,784	△2,828
投融資による支出	△47,445	△4,078
投融資の回収による収入	64,423	15,134
投資活動によるキャッシュ・フロー	△618,869	43,216
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,390,000	1,100,000
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	△8,094	△8,031
リース債務の返済による支出	△14,488	△14,557
自己株式の純増減額(△は増加)	12,853	13,349
配当金の支払額	△505,751	△509,179
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,274,520	581,582
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,786	11,346
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△239,671	190,298
現金及び現金同等物の期首残高	1,476,446	1,505,002
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,236,775	1,695,300

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計
	菓子事業	食品事業	飲食事業	不動産 賃貸事業	その他の 事業(注)	計	
売上高							
外部顧客への売上高	4,029,797	1,660,583	691,816	209,833	207,421	6,799,449	6,799,449
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	47,593	—	47,593	47,593
計	4,029,797	1,660,583	691,816	257,426	207,421	6,847,042	6,847,042
セグメント利益 又は損失(△)	△323,471	113,855	△39,133	106,646	13,187	△128,917	△128,917

(注) 報告セグメントの「その他の事業」は、連結子会社が営むスポーツクラブの営業及び保険代理業であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△128,917
全社費用(注)	△518,556
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△647,473

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、当初想定していた収益が見込めないため、一部の店舗において減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては304千円であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計
	菓子事業	食品事業	飲食事業	不動産 賃貸事業	その他の 事業(注)	計	
売上高							
外部顧客への売上高	4,034,499	1,699,863	780,953	347,600	214,380	7,077,293	7,077,293
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	41,417	—	41,417	41,417
計	4,034,499	1,699,863	780,953	389,017	214,380	7,118,710	7,118,710
セグメント利益 又は損失(△)	△342,414	127,871	△22,401	132,387	16,381	△88,175	△88,175

(注) 報告セグメントの「その他の事業」は、連結子会社が営むスポーツクラブの営業及び保険代理業であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△88,175
全社費用(注)	△524,038
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△612,213

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、当初想定していた収益が見込めないため、一部の店舗において減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては5,146千円であります。

(訂正前)



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月31日

上場会社名 株式会社中村屋 上場取引所 東  
 コード番号 2204 URL <http://www.nakamuraya.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 達也  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 二本松 壽 (TEL) 03-5454-7125  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	7,077	4.1	△612	—	△589	—	△422	—
27年3月期第1四半期	6,799	△2.2	△647	—	△645	—	△131	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △164百万円( —%) 27年3月期第1四半期 △29百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△7.14	—
27年3月期第1四半期	△2.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	39,458	22,844	57.9
27年3月期	39,767	23,585	59.3

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 22,844百万円 27年3月期 23,585百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	10.00	10.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,200	△1.8	△1,560	—	△1,530	—	△1,040	—	△17.60
通期	42,100	1.2	1,110	44.6	1,160	24.0	780	9.6	13.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期1Q	59,762,055株	27年3月期	59,762,055株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	600,621株	27年3月期	629,000株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期1Q	59,144,454株	27年3月期1Q	59,041,899株

(注) 期末自己株式数には、従業員持株会処分型ESOP (信託口) が所有する当社株式数を含めて記載しております。

28年3月1Q 493,000株      27年3月期 523,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績については、今後の様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、安倍政権の経済政策アベノミクスによる景気の下支えはあるものの、消費マインドの停滞や公共投資に弱さが見られる等先行き不透明な状況が続いております。

菓子・食品業界におきましても、円安による、原材料価格の高騰や、根強い節約志向に加え、少子化による市場そのものの縮小といった要素も加わり、引き続き企業間競争が激化しています。

このような厳しい環境の中、当中村屋グループは経営理念である「新たな価値を創造し、健康で豊かな生活の実現に貢献する」を果たすため、お客様満足の視点に立ち、既存事業の更なる深耕と成長マーケットへの新たなチャレンジを推進しました。

以上のような経過の中で、当第1四半期連結売上高は、7,077,293千円 前年同期に対し277,844千円、4.1%の増収となりました。

利益面におきましては、売上高増収等による粗利益の増加にあわせ、ローコスト施策を積極的に推進し、営業損失は612,213千円 前年同期に対し35,260千円の改善となり、経常損失は588,763千円 前年同期に対し55,921千円の改善となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は422,442千円 法人税等調整額の減益方向での影響もあり、前年同期に対し291,831千円の減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、原材料及び貯蔵品の増加483,811千円、投資有価証券の増加379,438千円、商品及び製品の増加295,645千円、繰延税金資産の増加235,718千円等がありましたが、受取手形及び売掛金の減少1,697,767千円等により、前連結会計年度末に比べ309,363千円減少し、39,457,809千円となりました。

負債は、賞与引当金の減少305,607千円、支払手形及び買掛金の減少190,147千円等がありましたが、短期借入金の増加1,177,487千円等により、前連結会計年度末に比べ432,295千円増加し、16,613,990千円となりました。

純資産は、配当金の支払等による利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末に比べ741,658千円減少し、22,843,819千円となりました。

## (キャッシュ・フローについて)

当第1四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ190,298千円増加し、1,695,300千円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、445,847千円の支出となりました。これは主に、売上債権の減少1,697,767千円等による収入があったものの、たな卸資産の増加782,409千円、税金等調整前四半期純損失596,352千円、賞与引当金の減少305,607千円、未払消費税の減少231,429千円等があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、43,216千円の収入となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出69,215千円等があったものの、定期預金の払戻による収入126,408千円等があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、581,582千円の収入となりました。これは主に、配当金の支払額509,179千円等があったものの、短期借入金の純増額による収入1,100,000千円等があったことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予測につきましては、平成27年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。



2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当該事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当該事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,892,815	1,961,390
受取手形及び売掛金	4,259,042	2,561,275
商品及び製品	1,234,103	1,529,748
仕掛品	37,133	40,086
原材料及び貯蔵品	869,914	1,353,725
繰延税金資産	488,363	724,081
その他	367,013	463,875
貸倒引当金	△5,490	△3,408
流動資産合計	9,142,894	8,630,771
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,518,555	8,402,424
土地	13,748,156	13,748,156
その他(純額)	1,807,962	1,764,224
有形固定資産合計	24,074,673	23,914,804
無形固定資産		
その他	246,989	237,799
無形固定資産合計	246,989	237,799
投資その他の資産		
投資有価証券	5,426,733	5,806,171
その他	879,109	871,465
貸倒引当金	△3,226	△3,201
投資その他の資産合計	6,302,616	6,674,435
固定資産合計	30,624,278	30,827,038
資産合計	39,767,172	39,457,809
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,410,800	1,220,653
短期借入金	2,267,231	3,444,718
未払法人税等	91,746	38,375
賞与引当金	610,196	304,589
資産除去債務	12,000	12,000
その他	2,170,017	2,006,782
流動負債合計	6,561,990	7,027,118
固定負債		
長期借入金	2,119,289	2,033,770
繰延税金負債	1,210,174	1,377,805
退職給付に係る負債	4,673,194	4,630,824
資産除去債務	76,209	76,637
その他	1,540,840	1,467,837
固定負債合計	9,619,705	9,586,873
負債合計	16,181,695	16,613,990

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,469,402	7,469,402
資本剰余金	8,028,457	8,030,298
利益剰余金	<u>6,915,534</u>	<u>5,901,762</u>
自己株式	△257,717	△246,209
株主資本合計	<u>22,155,676</u>	<u>21,155,253</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,496,083	1,753,506
退職給付に係る調整累計額	△66,283	△64,940
その他の包括利益累計額合計	1,429,800	1,688,566
純資産合計	<u>23,585,476</u>	<u>22,843,819</u>
負債純資産合計	39,767,172	39,457,809

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	6,799,449	7,077,293
売上原価	4,189,324	4,347,393
売上総利益	2,610,125	2,729,900
販売費及び一般管理費	3,257,598	3,342,113
営業損失(△)	△647,473	△612,213
営業外収益		
受取利息	683	779
受取配当金	8,176	8,334
為替差益	—	16,032
その他	11,822	8,652
営業外収益合計	20,681	33,796
営業外費用		
支払利息	3,957	6,925
為替差損	11,146	—
支払手数料	—	2,148
その他	2,790	1,274
営業外費用合計	17,892	10,347
経常損失(△)	△644,684	△588,763
特別損失		
固定資産除却損	1,960	352
投資有価証券評価損	—	2,091
減損損失	304	5,146
特別損失合計	2,264	7,589
税金等調整前四半期純損失(△)	△646,948	△596,352
法人税、住民税及び事業税	19,130	16,114
法人税等調整額	△535,468	△190,024
法人税等合計	△516,338	△173,910
四半期純損失(△)	△130,610	△422,442
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△130,610	△422,442
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	156,128	257,422
退職給付に係る調整額	△54,174	1,343
その他の包括利益合計	101,954	258,766
四半期包括利益	△28,656	△163,676
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△28,656	△163,676
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△646,948	△596,352
減価償却費	199,312	256,921
有形固定資産除却損	1,960	352
投資有価証券評価損益(△は益)	—	2,091
減損損失	304	5,146
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,472	△2,107
賞与引当金の増減額(△は減少)	△317,645	△305,607
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△233,430	△40,384
受取利息及び受取配当金	△8,859	△9,113
支払利息	3,957	6,925
為替差損益(△は益)	11,146	△16,032
売上債権の増減額(△は増加)	1,738,959	1,697,767
たな卸資産の増減額(△は増加)	△654,891	△782,409
仕入債務の増減額(△は減少)	△688,505	△190,147
未払消費税等の増減額(△は減少)	9,631	△231,429
役員退職慰労未払金の増減額(△は減少)	—	△5,091
その他	△307,909	△214,723
小計	△888,447	△424,193
利息及び配当金の受取額	39,508	54,092
利息の支払額	△3,719	△6,820
法人税等の支払額	△39,878	△68,926
営業活動によるキャッシュ・フロー	△892,536	△445,847
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△6,421	—
定期預金の払戻による収入	—	126,408
有形固定資産の取得による支出	△545,416	△69,215
有形固定資産の売却による収入	145	—
無形固定資産の取得による支出	△12,372	△22,205
投資有価証券の取得による支出	△71,784	△2,828
投融資による支出	△47,445	△4,078
投融資の回収による収入	64,423	15,134
投資活動によるキャッシュ・フロー	△618,869	43,216
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,390,000	1,100,000
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	△8,094	△8,031
リース債務の返済による支出	△14,488	△14,557
自己株式の純増減額(△は増加)	12,853	13,349
配当金の支払額	△505,751	△509,179
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,274,520	581,582
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,786	11,346
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△239,671	190,298
現金及び現金同等物の期首残高	1,476,446	1,505,002
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,236,775	1,695,300

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計
	菓子事業	食品事業	飲食事業	不動産 賃貸事業	その他の 事業(注)	計	
売上高							
外部顧客への売上高	4,029,797	1,660,583	691,816	209,833	207,421	6,799,449	6,799,449
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	47,593	—	47,593	47,593
計	4,029,797	1,660,583	691,816	257,426	207,421	6,847,042	6,847,042
セグメント利益 又は損失(△)	△323,471	113,855	△39,133	106,646	13,187	△128,917	△128,917

(注) 報告セグメントの「その他の事業」は、連結子会社が営むスポーツクラブの営業及び保険代理業であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△128,917
全社費用(注)	△518,556
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△647,473

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、当初想定していた収益が見込めないため、一部の店舗において減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては304千円であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計
	菓子事業	食品事業	飲食事業	不動産 賃貸事業	その他の 事業(注)	計	
売上高							
外部顧客への売上高	4,034,499	1,699,863	780,953	347,600	214,380	7,077,293	7,077,293
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	41,417	—	41,417	41,417
計	4,034,499	1,699,863	780,953	389,017	214,380	7,118,710	7,118,710
セグメント利益 又は損失(△)	△342,414	127,871	△22,401	132,387	16,381	△88,175	△88,175

(注) 報告セグメントの「その他の事業」は、連結子会社が営むスポーツクラブの営業及び保険代理業であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△88,175
全社費用(注)	△524,038
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△612,213

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、当初想定していた収益が見込めないため、一部の店舗において減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては5,146千円であります。